



「統合報告書 住友精化レポート2025」(レスポンシブル・ケア関連情報)

第三者検証 意見書

2025 年 9 月 4 日

住友精化株式会社
代表取締役社長 織田 佳明 殿

一般社団法人 日本化学工業協会
レスポンシブル・ケア検証センター長

石井



■ 検証の目的

レスポンシブル・ケア報告書検証は、住友精化株式会社が作成した「統合報告書 住友精化レポート2025」(以後、報告書と略す)に記載された下記の事項について、レスポンシブル・ケア検証センターが化学業界の専門家の意見を表明することを目的としています。なお、検証範囲は貴社より提供されたレスポンシブル・ケア関連情報のみとします。

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性および数値の正確性
- 2) 数値以外の提供情報の正確性
- 3) レスポンシブル・ケア活動およびCSR活動の評価

■ 検証の手順

- ・ 本社において、各サイト(事業所、工場等)から報告される数値の集計方法の合理性、および数値以外の提供情報の正確性について調査を行いました。調査は、レスポンシブル・ケア関連情報の内容について、各業務責任者および報告書作成責任者に質問すること、ならびにそれぞれの責任者より資料提示と説明を受けることにより行いました。
- ・ 姫路工場において、本社に報告する数値の算出方法の合理性、数値の正確性、および数値以外の提供情報の正確性の調査を行いました。調査は、各業務責任者および報告書作成責任者へ質問すること、資料提示・説明を受けること、ならびに証拠物件と照合することにより行いました。
- ・ 数値及び数値以外の提供情報の調査については、サンプリング手法を適用しました。

■ 意見

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性および数値の正確性について
 - ・ 数値の算出・集計方法は、本社および姫路工場において、合理的な方法を採用しています。
 - ・ パフォーマンスの数値は、前年度データとの差異表示による注意喚起やトレンド管理、データ提出時のダブルチェック等の工夫により、正確に算出・集計されています。
- 2) 数値以外の提供情報の正確性について
 - ・ 提供された情報は、正確であることを確認しました。原案段階では表現の適切性あるいは文章の分かりやすさに関し、若干の問題があることを指摘しましたが、現在では修正されており、修正事項は認められません。
- 3) レスポンシブル・ケア活動およびCSR活動の評価について
 - ・ カーボンニュートラルを達成すべくサステナビリティ委員会のもとに「炭素循環型社会実現タスクフォース(以降、TFと略す)」を設置して体制を整備、TF事務局会議を毎月実施して、各プロジェクトの進捗状況・課題を確認し課題解決に向け協議を行っています。さらに具体的なCO₂削減計画、非化石燃料の使用やCO₂-PSA 装置の高性能化によるボイラー排出CO₂の回収等中長期の技術課題にも取り組んでいることを評価します。
 - ・ 『SEIKA 安全活動基本ルール』として、「作業前一呼吸」および「相互注意」を掲げ、誰にでもわかりやすく、その必要性を説明しています。安全の基本を徹底して進めていることを高く評価します。
 - ・ 中学生を対象とした兵庫県主催の「トライやる・ウィーク」受け入れやインターンシップ(中学2校、高校2校、高専3校、大学多数)を長期にわたって継続して実施し、地域・社会とのかかわりを大切にしていることを評価します。
 - ・ 年間のレスポンシブル・ケア活動について、姫路工場はじめ各工場の各部署の活動計画と結果を1つの冊子にまとめ、それを各部署へ配布することで活動への意識づけを行っています。他部署との対比もでき、有効な活動として評価します。
 - ・ 姫路工場では、高圧ガス原料であるエチレンオキシド(以下、EOと略す)に関わる防災訓練の実施、また懸案だったEO燃焼設備の設置により大気への排出を大幅に削減していることなど、事業継続に真摯に取り組んでいることを評価します。
 - ・ 今回提供された資料内容では、レスポンシブル・ケアの取組みが、わかりやすく表現されています。

以上